

臨床検査

2019年8月号

Vol.63 No.8

「臨床検査」は2017年より、4・10月号の年2冊を増刊号としてお届けしています(年12冊発行)。

今月の特集

知っておきたい がんゲノム医療用語集

ようやくわが国においても、個別化医療が“がんゲノム医療”として導入される時代となりました。がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療連携病院が指定され、多くのがん患者がその恩恵を受けるチャンスを手にすることが可能となっています。

しかしながら、医療現場においてがんゲノム医療を実際に運用する環境・人材が十分に整っているとは言い難いのが現状です。そこで本特集では、がんゲノム医療に関する代表的な用語を、網羅的にわかりやすく解説しています。

「そもそもがんゲノムとは？」という初歩的な疑問から、がんゲノム医療において重要となる“二次的所見”まで、がんゲノム医療の全てが見えてくる一冊

総論：がんゲノム医療とは	柳田 絵美衣
がんゲノム医療全体に関する用語	柿島 裕樹
がんゲノム自体に関する用語	柳田 絵美衣
検査(検体処理、標本作製：病理検査)に関する用語	井上 博文
検査(核酸抽出、核酸取り扱い、核酸品質管理：遺伝子検査)に関する用語	井上 博文
検査(ライブラリー作製、次世代シーケンサー)に関する用語	赤羽 俊章
解析(バイオインフォマティクス)にかかわる用語	谷嶋 成樹
エキスパートパネル&治療、治験、薬剤に関する用語	須賀 淳子、他
二次的所見に関する用語	浦川 優作